

# SCSI アレイコントローラカード PG-142E ご使用前に

このたびは、弊社の SCSI アレイコントローラカードをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。  
本書は、本製品に添付の『SCSI アレイコントローラカード PG-142E (MegaRAID SCSI 320-2) 取扱説明書 (B7FY-1241-01)』の記述を補正しております。本製品をご利用になる前に必ずお読みください。

2004年1月  
富士通株式会社

## 1 取扱説明書補足

ここでは、『SCSI アレイコントローラカード PG-142E 取扱説明書』を追記・訂正します。

### 1.1 RAS 支援サービスについて

#### ■Windows 2000 Server/Windows Server 2003 をご使用の場合

本製品には、RAS 支援サービスのフロッピーディスクが添付されています。Windows をご使用の場合、本製品の定期交換部品(バッテリー)を監視するためには、RAS 支援サービス **Version 4.0 Level 11 以降** を使用する必要があります。バージョンを確認し、旧版数の RAS 支援サービスがインストールされている場合は、添付のフロッピーディスクからインストールまたはアップデートを行ってください。

RAS 支援サービスは、ご使用のサーバによってモジュールが異なります。ご使用のサーバの名称が記載されたフロッピーディスクをご使用ください。本製品には、以下のサーバに対応する RAS 支援サービスのフロッピーディスクが添付されています。

- ・PRIMERGY TX200
- ・PRIMERGY TX600
- ・PRIMERGY RX800

上記以外のサーバでは、サーバ本体に添付の「RAS 支援サービス」をご使用ください。

アップデートインストール時は、搭載日、稼働時間、サーバ稼働時間などすべてが初期化されるため、アップデートインストールを行う前にこれらをメモしておく必要があります。以下に、RAS 支援サービスを手動でインストールする方法について、説明します。

#### POINT

- ▶ RAS 支援サービスの詳細については、サーバ本体に添付の「PRIMERGY ドキュメント&ツールCD」内『ユーザーズガイド』の「第6章 高信頼ツール」を参照してください。

#### 【RAS 支援サービスのバージョンの確認方法】

1. OS に管理者権限 (Administrator) でログオンします。
2. 「スタート」ボタン→「RAS 支援サービス」の順にクリックします。
3. タイトルバーを右クリックし、「バージョン情報 (RAS Assist Service) (A)」をクリックします。  
Version/Level が表示されます。

バージョンが Version 4.0 Level 11 以前の場合は、本製品に添付の RAS 支援サービスのフロッピーディスクからアップデートインストールを行ってください。

#### 【新規インストールの場合】

1. OS に管理者権限 (Administrator) でログオンします。
2. 添付のフロッピーディスクを、フロッピーディスクドライブにセットします。  
※各サーバ本体に対応したフロッピーディスクをご使用ください。
3. エクスプローラを起動します。
4. 「3.5 インチ FD」をクリックします。
5. “setup.bat”をダブルクリックします。  
以上でインストールは終了です。

### [アップデートインストールの場合]

1. OSに管理者権限(Administrator)でログオンします。
  2. 「スタート」ボタン→「RAS 支援サービス」の順にクリックします。
  3. [部品寿命情報 参照・設定]をクリックします。
  4. 搭載日、稼働時間、サーバ稼働時間をメモします。
  5. [キャンセル]をクリックし、「寿命部品情報 参照・設定」を終了します。
  6. [終了]をクリックし、「RAS 支援サービスメインメニュー」を終了します。
  7. 提供フロッピーディスクを、フロッピーディスクドライブにセットします。  
※各サーバ本体に対応したフロッピーディスクをご使用ください。
  8. エクスプローラを起動します。
  9. 「3.5 インチ FD」をクリックします。
  10. “setup.bat”をダブルクリックします。
  11. 「スタート」ボタン→「RAS 支援サービス」の順にクリックします。
  12. [寿命部品情報 参照・設定]をクリックします。
  13. メモしておいた搭載日、稼働時間、サーバ稼働時間(手入力できる場合)を入力します。
  14. 「部品寿命情報 参照・設定」画面で、[OK]をクリックします。
  15. 「搭載日または稼働時間が変更されています。変更を保存してよろしいですか?」と表示されたら [はい(Y)]をクリックします。
  16. [終了]をクリックし、「RAS 支援サービスメインメニュー」を終了します。
- 以上でアップデートインストールは終了です。

### ■Linuxをご使用の場合

RAS 支援サービスをインストールしていない場合は、サーバに添付の以下のドキュメントを参照の上、RAS 支援サービスをインストールしてください。

※Linuxをご使用の場合は、本製品に添付の RAS 支援サービスのフロッピーディスクは使用しません。

- PRIMERGY TX200 / TX600 の場合  
PRIMERGY ドキュメント&ツールCD 内の、以下のファイルをご覧ください。  
[ CD-ROM ドライブ ]: ¥RASAssistLinuxRAS.pdf
- PRIMERGY RX800 の場合  
PRIMERGY ドキュメント&ツールCD 内『ユーザーズガイド』の「第6章 高信頼ツール」を参照してください。

本製品をサーバに搭載した場合は、必ず以下の手順に従って、本製品のバッテリーを寿命監視の対象に設定してください。なお、その際には上記のドキュメントを参照して、使用方法をご確認ください。

### [寿命監視の設定手順]

1. ブラウザで RAS 支援サービスに接続しログオンします。  
コンポーネントステータスレポートの画面が表示されます。
2. 「搭載日・稼働時間設定変更」をクリックします。
3. 表示された画面で、「RAID Card Ni-cd 1」の[変更]をクリックします。
4. 搭載日の入力欄に、本製品を搭載した日付を入力します。
5. 本製品を複数搭載する場合は、「RAID Card Ni-cd 2」以降の入力欄に、同様の手順で搭載日を入力します。
6. 「搭載日・稼働時間設定変更実行」をクリックします。  
コンポーネントステータスレポートの画面に戻ります。正しく設定されると入力したカードの情報が表示されますので、確認してください。

## 1.2 Linux 使用時の補足事項

Global Array Manager Server (gam-server) をインストールした場合、システムの再起動を行う前に、`/etc/rc.d/init.d/gam` の以下に示す 2 行の編集を行ってください。ファイルの編集が完了したら、システムの再起動を行ってください。本変更により、各イベントが GAM クライアントに通知されるようになり、`/var/log/gamevlog.log` にイベントログが書き込まれるようになります。

[`/etc/rc.d/init.d/gam` の編集]

変更前:

```
#gamevent -h host1 -h host2 -h host3 &
```

変更後:

```
gamevent -h IP アドレス & ←
```

GAM クライアントがインストールされている管理用 Windows システムの IP アドレス

変更前:

```
#gamevlog -f $EVENTLOGFILE &
```

変更後:

```
gamevlog -f $EVENTLOGFILE & ←
```

先頭のコメントを外します。

## 2 留意事項

### 2.1 管理者権限以外での GAM クライアントの使用について

OS の管理者権限 (Administrator) 以外のユーザで GAM クライアントを使用した場合、GAM クライアント終了時に以下のエラーが出る場合がありますが、特に問題はありません。[OK] をクリックして GAM クライアントを終了させてください。



### 2.2 故障予測が発生しているハードディスクが故障した際について

故障予測 (SMART) が発生しているハードディスク (Critical 状態のハードディスク) が Dead となった場合、GAM でハードディスクのステータスを見た際に、Critical の状態のまま表示されます。ハードディスクの故障については、イベントログ、ハードディスクキャビネットの Fault LED をご確認ください。

### 2.3 WebBIOS でのハードディスクの容量表示について

WebBIOS のメインメニュー画面の「Physical Drives」エリアでハードディスクをクリックして表示される容量の情報 (Size) が「0MB」と表示されます。各ハードディスクの容量を確認する場合は、メインメニュー画面で「Physical Drives」エリアに表示されている容量を参照してください。

### 2.4 ドライバのタイムアウト発生時の対処について

イベントビューアのシステムログに以下の内容のログが記録された場合は、サーバ上で GAM クライアントを起動し、RAID の状態を確認してください。

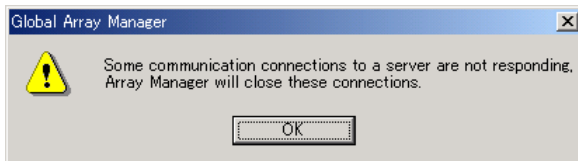
ソース:	mraid2k または mraid35x
イベントID:	9
種類:	エラー
内容:	デバイス¥Device¥Scs¥mraid*はタイムアウト期間内に応答しませんでした。

### ■GAMクライアントが正常に起動した場合

すべてのハードディスクが Online となっている場合は、ファームウェアのリトライにより復旧されるので、特に問題はありません。故障ハードディスクが存在した場合は、イベントログを確認し、そのログの対処方法に従ってください。

### ■GAMクライアントの起動時にエラーが発生する場合

GAMクライアントを起動した際、しばらく(数分程度)してから以下のようなエラーが出た場合、またはサーバに接続できない場合は、ServerView でアレイの状態の確認を行ってください。



#### [ServerView でのアレイの状態の確認方法]

1. 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Fujitsu ServerView」→「Fujitsu ServerView」の順にクリックします。
2. サーバの一覧画面から本製品の搭載されているサーバをダブルクリックします。
3. [外部記憶装置]をクリックします。
4. リストから「MegaRAID SCSI 320-2」を選択し、[デバイスの表示]をクリックします。

特定のチャンネルに1台または複数台のハードディスクが赤色で表示されている場合(故障表示の場合)、SCSIバス上の異常が考えられます。担当保守員にご連絡ください。

## 2.5 イベントチェッカーについて

本製品をご利用になる際、以下の条件にすべて当てはまる場合は、必ず本製品に添付されているイベントチェッカーのインストールを行ってください。

- ハードディスクを2チャンネルとも使用して接続している場合
- アレイ構成の中に、以下のアレイのいずれかが含まれている場合
  - ・ ハードディスクを2チャンネルに分散させた RAID 1 構成または RAID 10 構成
  - ・ ハードディスクを2チャンネルに分散させ、片方のチャンネルに1台のみ接続されている RAID 5 構成
- OS (Windows 2000 Server / Windows Server 2003) を、上記アレイ構成にインストールして使用している場合

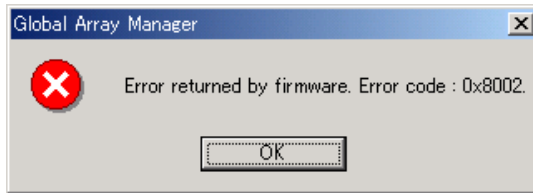
イベントチェッカーのインストール方法・ご使用方法については、本製品に添付の『PRIMERGY イベントチェッカー V10L10(PG-142E 用) 取扱説明書』を参照してください。

## 2.6 ソース : gamevlog で記録される OS イベントログについて

本製品は、ServerView から通知される OS イベントログによってアレイを監視します。GAM から通知されるイベント(ソース:gamevlog)はサポートされませんので、gamevlog で記録されるイベントは無視してください。また、前後に ServerView によって通知された本製品用のログがある場合は、そちらのログを参照してください。ServerView によって通知されるログの一覧については、『SCSI アレイコントローラカード PG-142E (MegaRAID SCSI 320-2) 取扱説明書』の「付録 B GAM エラーコード一覧」を参照してください。

## 2.7 GAM でのライトモードの設定に関して

GAM 上でライトモードの設定変更操作を行った際に、以下のエラーが発生し、ライトモードの設定変更ができない場合があります。



ライトモードの設定を行うには WebBIOS をご使用ください。

WebBIOS でのライトモードの設定変更方法については、『SCSI アレイコントローラカード PG-142E (MegaRAID SCSI 320-2) 取扱説明書』の「3.11 ライトモードの設定変更」を参照してください。

## 2.8 ServerView コンソールを使用する際の注意事項

ServerView コンソールご使用時の注意事項は以下のとおりです。

### 2.8.1 GAM クライアントの起動について

GAM クライアントを開いている状態で、ServerView コンソールから GAM クライアントを開こうとした場合(外部記憶装置画面の[設定]をクリック)、次のメッセージがポップアップされます。動作には問題ないので、本メッセージを閉じてください。

Can't write Profile for error #123 (ファイル名、ディレクトリ名、またはボリュームラベルの構文が間違っています。)

### 2.8.2 デバイスの表示画面について

本製品が複数搭載されている場合、PG-142E のデバイスを表示(外部記憶装置画面の[デバイスの表示]をクリック)すると、1 枚目の情報が表示されます。「デバイスの表示」画面で、表示させるコントローラを選択してください。

### 2.8.3 Linux のご使用時について

Linux サーバにおいて、ServerView 上での本製品に接続されたハードディスクの情報の表示はサポートしていません(動作保証外となります)。

本製品に接続されたハードディスクの情報を参照する場合は、GAM を使用してください。

### 2.8.4 デバイスの表示について

本製品と PG-144C が搭載されている場合、ServerView でハードディスクの情報を参照(外部記憶装置画面の[デバイスの表示]をクリック)すると、ServerView が管理不可能状態、または、RSB モード状態になることがあります。この現象が発生した場合は、SNMP Service サービスを再起動してください。

なお、本製品に接続されたハードディスクの情報を参照するには、通常は GAM を使用してください。

### 3 SupportDesk Product リモート通報機能をご利用のお客様へ

リモート通報サービス向けのソフトウェア「REMCS エージェント」をインストールした際は、本装置に添付の「REMCS エージェント PG-142E 対応ディスク」を使用し、以下の手順に従ってアップデートを行ってください。

1. OS に管理者権限 (Administrator) でログオンします。
2. ハードディスク上に作業用フォルダを作成し、フロッピーディスク内の RMSSWFLT\_XXX.exe をコピーします。(XXX は4桁の数字)
3. コピーした RMSSWFLT\_XXX.exe を実行します。  
同じフォルダ上にファイルが作成されます。
4. 作成された “ rmssetup.exe ” を実行します。  
修正が適用されます (再起動の必要はありません)。
5. サーバに ServerView コンソールがインストールされていない場合は、ServerView コンソールをインストールしてください。手順はサーバ本体に添付の「PRIMERGY ドキュメント&ツール CD」内の『ServerView ユーザーズガイド』の「ServerView Console のインストール」を参照してください。

Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Global Array Manager、WebBIOS は、米国 LSI Logic 社の商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2003-2004





古紙配合率100%再生紙を使用しています。



Trademark of American Soybean Association

TM

大豆インキで印刷しています。



\* B 7 F Y A 0 4 1 0 2 \*